

# 無対面から始めるアジャイル開発

～完全リモートで自らカイゼンを回せるチームを0から作る～

2021/10/07

Technology Group

大脇 齊、戸松 研人、山本 大貴

Brand Promise

# Transformation Design for Alternative Futures

未来を変える、変革を創る。

Ridgelinezは、Transformation Design Firm（変革創出企業）として誕生しました。単なる最先端な未来ではない、人や社会の持続的な幸福が実現する未来 — お客様と共に未来を描き、見たことのない景色を生み出す。それが私たちの使命です。

Alternative Futures



Transformation  
Design

...  
Now

About Ridgelinez

# Ridgelinez

社名である「Ridgelinez」は、変革のプロセスを山の稜線（ridgeline）になぞらえ、「最後まで変革の稜線を歩いていく」という思いから名付けました。また、山々が重なり合い美しい景色を生み出すように、「多様な個性・仲間との 共創により新たな価値を生み出す」という意味も込められています。

チェンジリーダーと共に

人が発想の起点



私たちは、変革への志を持つ「チェンジリーダー」と戦略を策定し、議論を通じてアジャイル開発を行いながら、変革の稜線を最後まで共に歩みます。

私たちは、クライアントのお客様やその先のユーザー、従業員といったステークホルダーを深く理解し、その人々にとって最適なソリューションを提案します。

# 自己紹介

## Technology Group

お客様のDX戦略を最新のTechnologyで実現する部隊



大脇 斉

Ohwaki Hitoshi

アジャイル開発の実践知を活かし、現場に寄り添うスタイルで組織へのアジャイル導入を手掛ける。CSM、SPC保有。



戸松 研人

Tomatsu Kento

AIサービス開発からクラウド基盤開発、SREに至るまで、幅広い分野でアジャイル開発を実践している。CSM保有。



山本 大貴

Yamamoto Daiki

ブロックチェーンサービスの開発に従事。数多くのPoCでアジャイルを実践。CSM保有。

# プロジェクト概要

## HRTech領域での新規事業立上げプロジェクト

### スケジュール



### 開発手法

要件を探りながら進めるため、アジャイル開発を適用

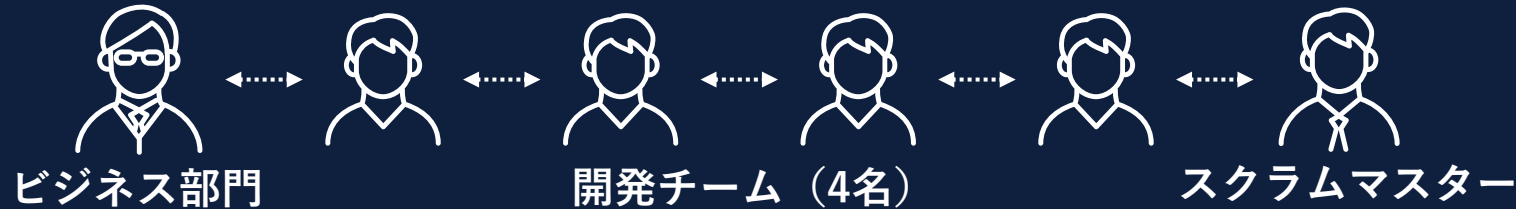
### メンバー



# 完全リモートアジャイルへの挑戦

コロナ禍の影響による職場環境の変化を見据え、end to endのコンサルファームとしてリモートアジャイルのナレッジを蓄積する

全員初対面のメンバーで、



リモートでアジャイル

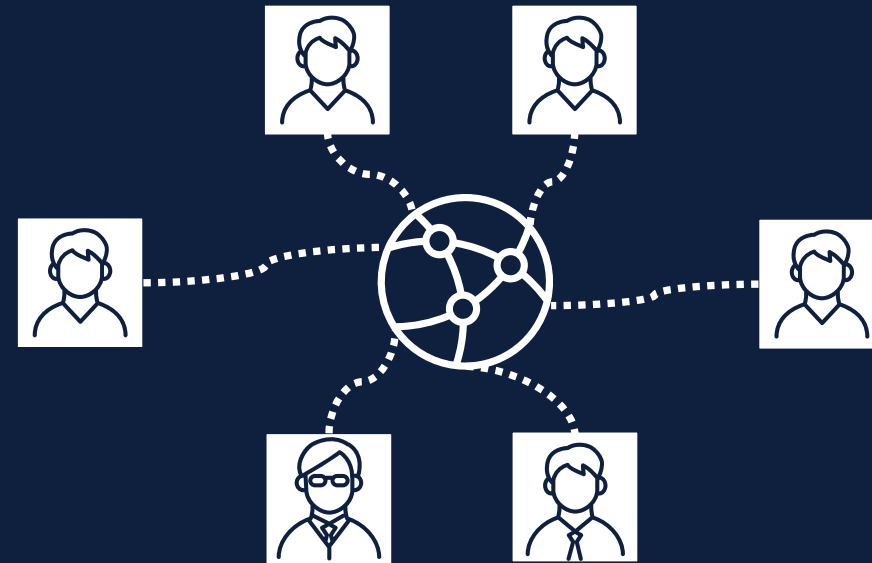


# リモートアジャイルで想定される問題

- 対面では暗黙的に共有できていた情報が共有できない
- 業務外も含む絶対的なコミュニケーション量が少ない
- 関係性の構築に時間を要する
- 一体感の醸成に時間を要する



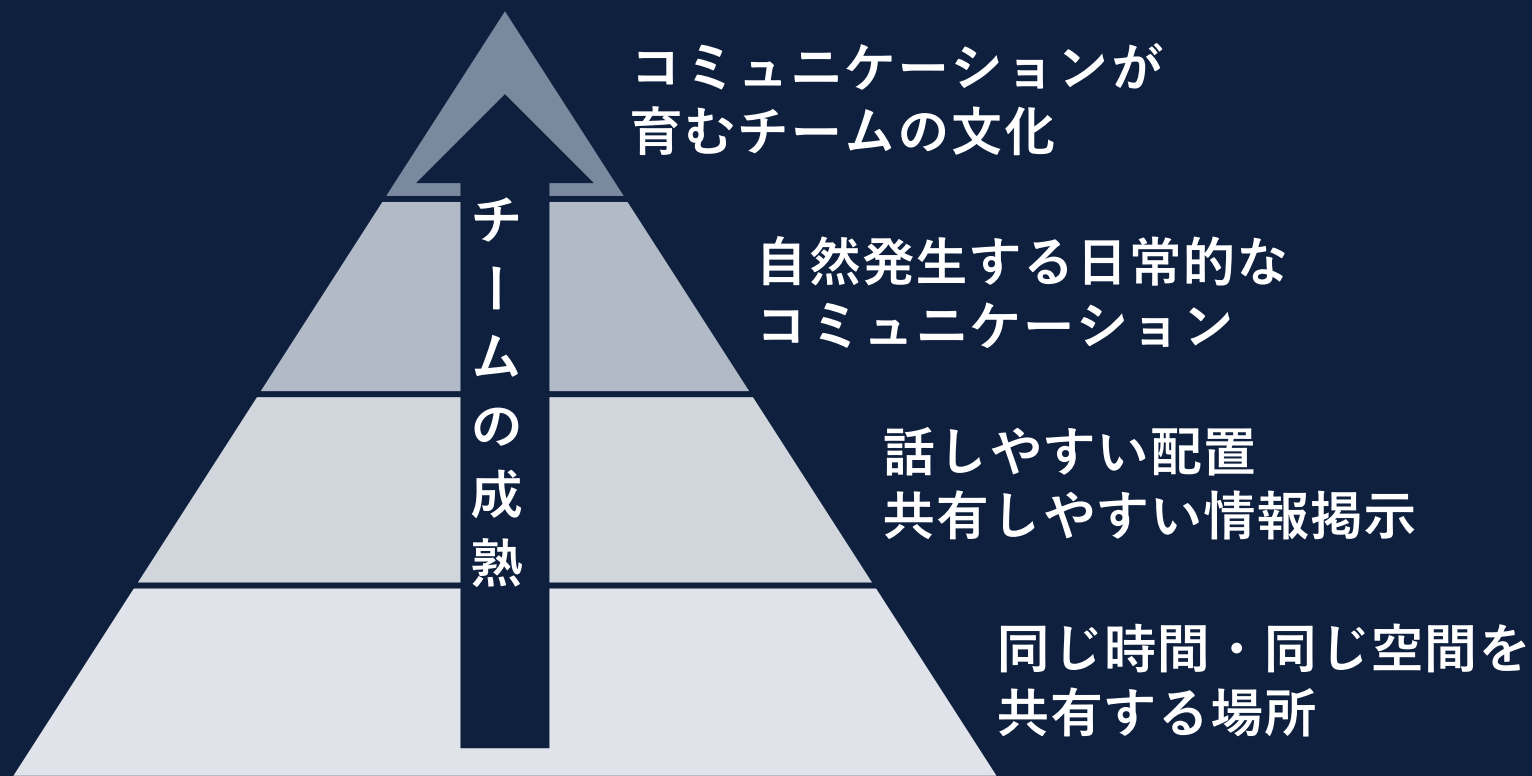
プロジェクトルーム



リモートワーク



# プロジェクトルームが効果を生む仕組み



# リモートアジャイルの課題

コミュニケーションが  
育むチームの文化

自然発生する日常的な  
コミュニケーション

アジャイルの本質

話しやすい配置  
共有しやすい情報掲示

同じ時間・同じ空間を  
共有する場所

プロジェクトルーム  
=  
本質を生み出す“場”

オンサイト

リモートワークでも  
文化を育める  
“場”をつくる

リモート

# リモートアジャイルでの“場”のつくりかた

- つい見たくなる情報共有基盤を作る
- すぐ隣にいるような錯覚を作る
- 本音で話せる関係性を作る
- 一緒に笑う時間を作る

人を起点にした発想で  
バーチャルプロジェクトルームを構築



# つい見たくなる情報共有基盤を作る

## 情報の徹底したオープン化&ログ化



オンラインホワイトボード



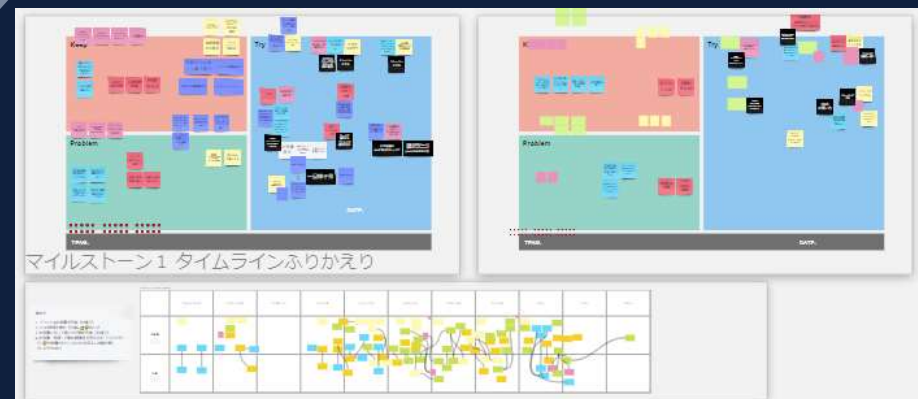
ビジネスチャット

- 常に参照でき、意識のずれを防止
- 利用するツールを絞り、共有空間の定型化および情報の集約に成功

# 無限に広がるオンラインホワイトボード



ふりかえり



マイルストーン・タイムラインふりがえり

カスタマージャーニーマップ



技術的な検討結果



インセプションデッキ



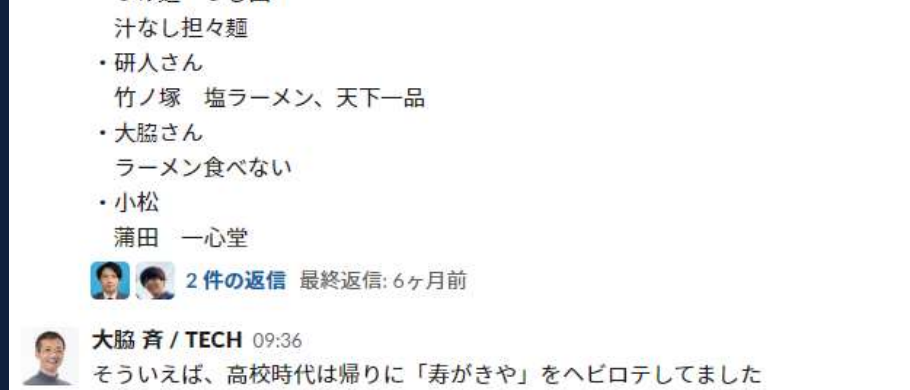
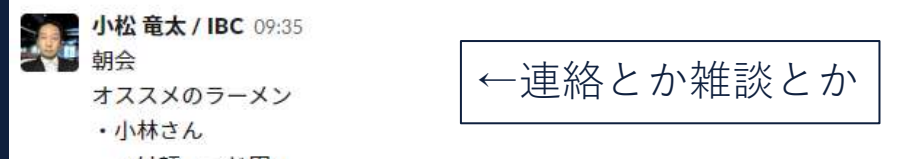
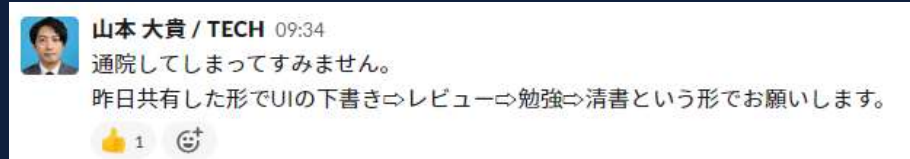
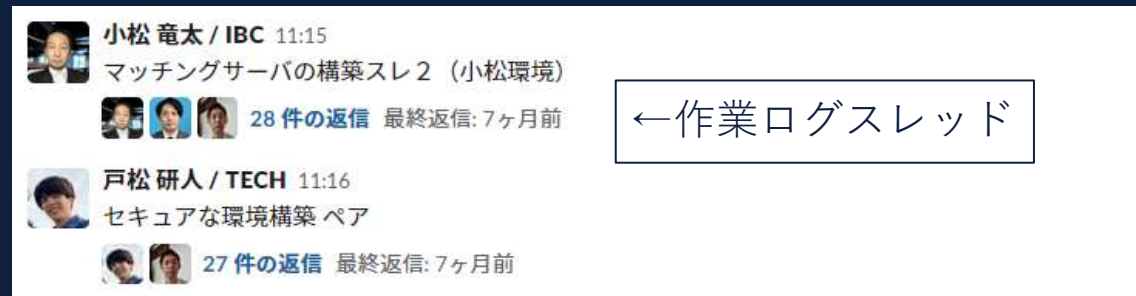
古い情報は別のボードにアーカイブ

# 普段使い感覚で距離を縮め、 コミュニケーションの密度を高めるビジネスチャット



# tech\_dxwfd\_dev  
 # tech\_dxwfd\_notice  
 # tech\_time\_kobayashi  
 # tech\_time\_komatsu  
 # tech\_time\_owaki  
 # tech\_time\_tomatsu  
 # tech\_time\_yamamoto\_daiki  
 # z\_ei\_ibc\_interlock

←開発連絡、ログ、雑談など  
 ←ツールからの通知  
 ←個人の日記、独り言的な  
 ←ビジネス部門との連絡、共有



# すぐ隣にいるような錯覚を作る

## ビデオ会議の顔出し常時接続

### ワーキングアグリーメント

- ・ 開発中はzoom(or Zoom Break Out Room)つなぎっぱなし

<https://zoom.us/j/> [redacted]

# tech\_dxwfod\_dev ▾

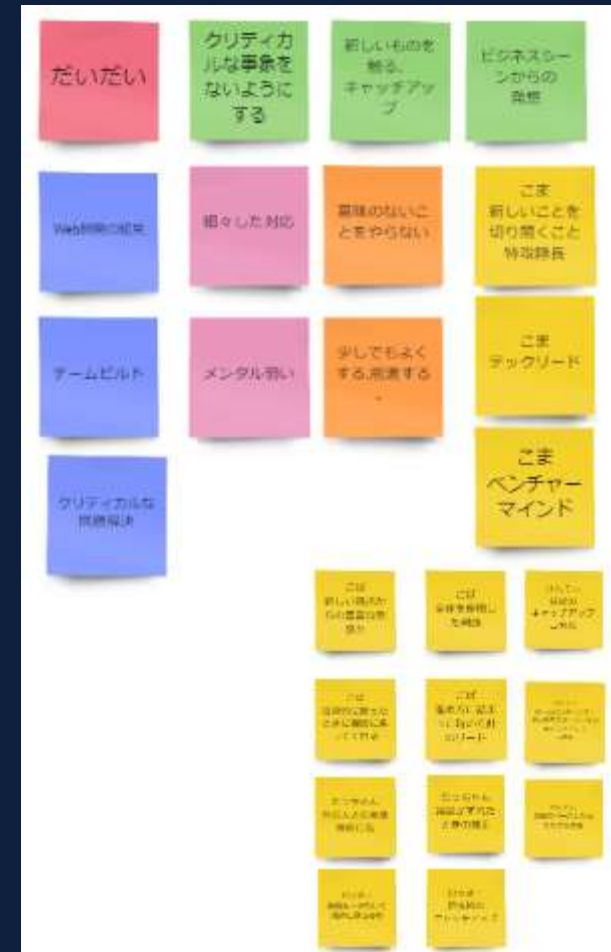
📌 4ピン留めアイテム  WOD main  開発Zoom +

- 業務以外の雑談も自然に発生
- 就業中という緊張感を作り出す



# 本音で話せる関係性を作る

## 定期的な期待値のすり合わせ（Ridgelinez流ドラッカー風エクササイズ）

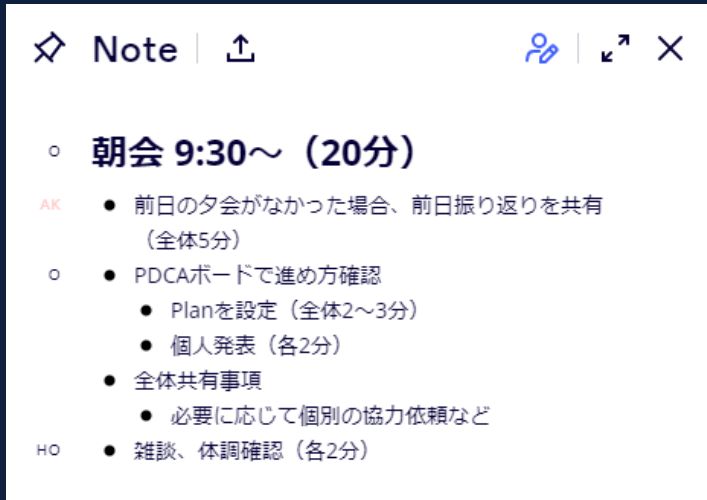


- お互いの強み・弱み・期待の共有
- 弱みを見せあえる雰囲気、期待に応えたい意欲



# 一緒に笑う時間を作る

## 朝会の『雑談タイム』



◇ Note | ↑

- 朝会 9:30～ (20分)
- AK
  - 前日の夕会がなかった場合、前日振り返りを共有 (全体5分)
- - PDCAボードで進め方確認
    - Planを設定 (全体2～3分)
    - 個人発表 (各2分)
  - 全体共有事項
    - 必要に応じて個別の協力依頼など
- HO
  - 雑談、体調確認 (各2分)

## 夕会の『共感タイム』



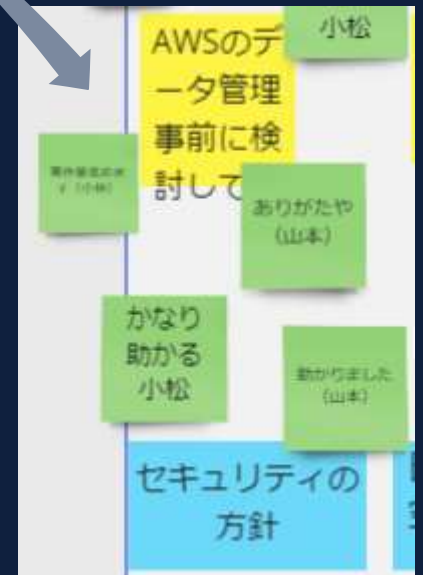
DO

17:28 ~ 17:40

This screenshot shows a meeting board with various sticky notes. A red circle highlights a specific note that is magnified in the adjacent image.



This screenshot shows another section of the meeting board with sticky notes and icons, including a person icon and a smiley face.



AWSのデータ管理  
事前に検討して

小松

かなり助かる  
小松

ありがとうございました  
(山本)

動きりました  
(山本)

セキュリティの方針

- 感情の表出と共感の表出が奏功
- アドバイスや話の発展など、高みを目指す文化

# 施策の効果

- 対面では暗黙的に共有できていた情報が共有できない
- 業務外も含む絶対的なコミュニケーション量が少ない
- 関係性の構築に時間を要する
- 一体感の醸成に時間を要する

つい見たくなる  
情報共有基盤

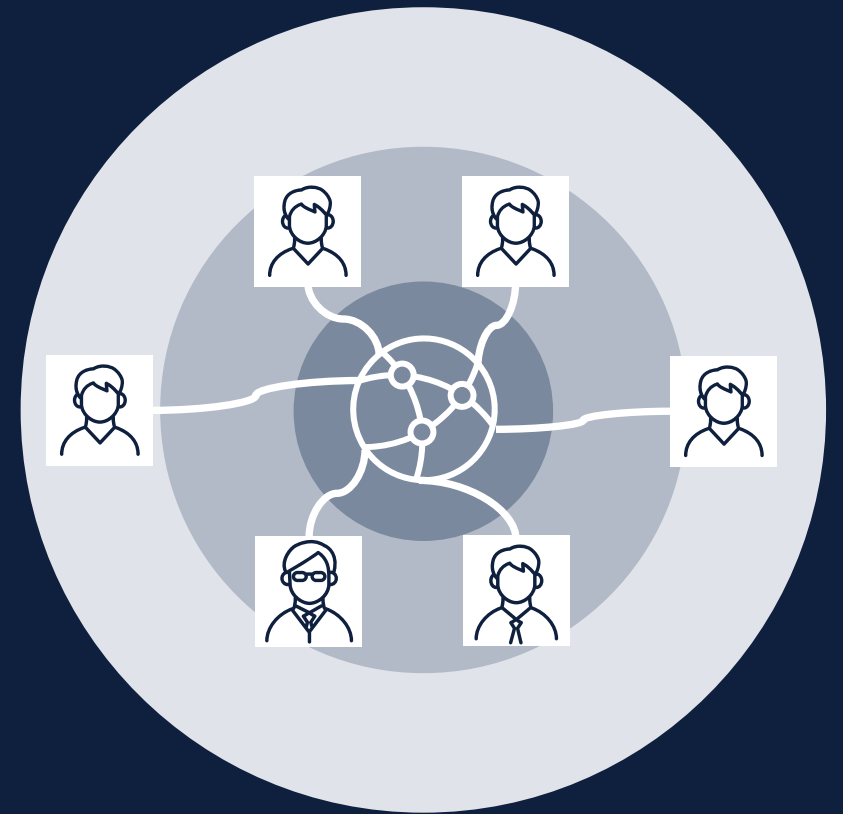
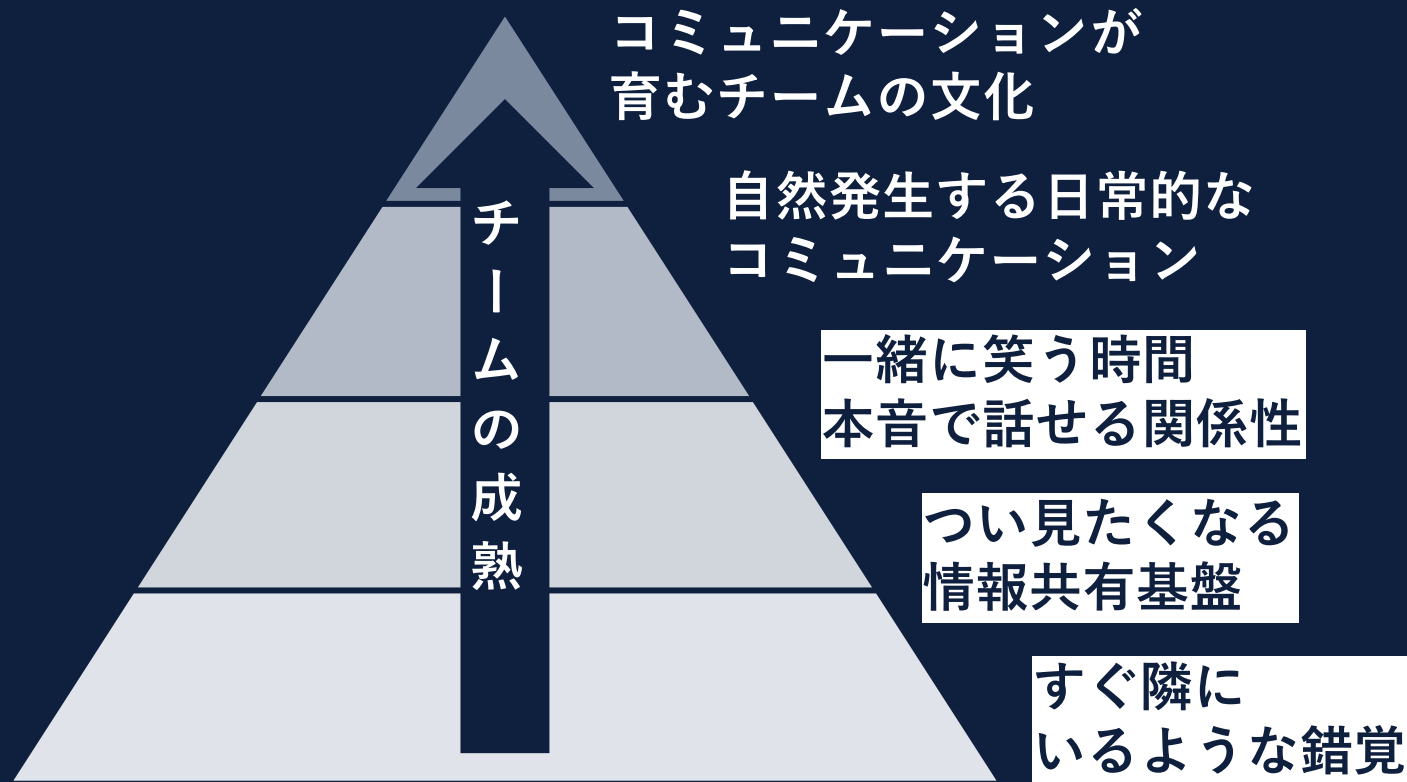
すぐ隣に  
いるような錯覚

本音で話せる関係性

一緒に笑う時間

- 常に共有を意識してプロジェクトを進める
- チームの雰囲気良くなり、業務以外の雑談も気軽に
- お互いの成長を支え合い信頼関係を含む関係性の早期構築
- 短期間でメンバー間の心理的な距離を縮める事に成功

# 人を発想の起点としたバーチャルプロジェクトルームは 文化を育む“場”となり得る



# 成果と今後の展開

リアルな定石を超えたりモートアジャイルの新たな定石を築くことに成功

## 自らカイゼンを回せる チームビルディング

- 短期間で同じ目標に向かって行動できるチーム
- 開発チームからの豊富なカイゼンアイデア

## ビジネス部門からの 多大な信頼

- PoC用のサービス基盤を実質2ヶ月で構築、デモも好評
- ビジネス部門へ価値提案を行えるチームに成長



- 他案件での迅速なチーム立上げ（実証済）
- ビジネスの要求を早期に実現し、お客様のDX実現に貢献

**Thank You**